

大崎市民病院医療事故の公表について（包括的公表）

平成26年4月1日～平成26年9月30日に発生した医療事故は次のとおりです。

レベル3bまたは4aに該当する件数

| | | |
|----|--|----|
| 3b | 濃厚な処置や治療を要した（バイタルサインの高度変化，入院日数の延期，外来患者に入院，手術，骨折） | 5件 |
| 4a | 永続的な障害や後遺症が残ったが，有意な機能障害や美容上の問題を伴わない | 0件 |

このうち，他の医療機関の事故防止につながると考える事例を，下記のとおり掲載します。

| No. | 概要 | 原因 | 改善・対応策 |
|-----|--|---|---|
| 1 | ・駐車場の車いす乗降スペースの縁石につまずき転倒し，左大腿骨頸部骨折をおこした。 | ・縁石に気づかなかった。 | ・縁石部分を黄色に塗装し，目立つようにした。 |
| 2 | ・母体臍培養でGBS陽性だったが，分娩時に抗菌薬が投与されず，出生後，児がGBS肺炎を発症した。 | ・GBS陽性の検査結果の表記が分かりにくかった。 ・検査結果の確認を怠った。 | ・「GBS陽性妊婦における検査結果運用フロー」を作成し，検査結果を医療者と妊婦で共有する。 ・検査結果の表記を理解しやすく改訂した。 |